

特集

「ほっこり」オープン二周年

人形たちとつくるコミュニティスポット

Dogushi Vol.35 2021年10月発行 発行：人形劇のまち飯田「運営協議会」制作：NPO法人いいだ人形劇センター TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail: itida-puppet@mis.sanso.or.jp

掲示板 いいだ人形劇センターからのお知らせ

チケット発売
予約受付開始
11月19日!

ましゅ&Keiの クリスマス会

ましゅ&Keiがクリスマスに贈る大人気企画。今年にはピアニストのシモシュを迎え、パフォーマンスだけでなく、音楽も楽しめるスペシャルなプログラムです。会場はいずれも飯田人形劇場です。



オトナのためのクリスマスパーティ!

12月24日(金) 19時開演
【料金】一律2,000円

ファミリーで楽しむクリスマス会

12月25日(土) 11時開演
【料金】大人1,200円
子ども(3歳~高校生)600円
親子1,500円(大人1人・子ども1人)
※3歳未満無料

■予約・問合せ / いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594

Dogushi

View of IIDA

JR飯田駅前の歩道に埋め込まれている陶板に新しいデザインが加わりました。1979年に始まった「人形劇カーニバル飯田」、1998年からの「いいだ人形劇フェスタ」の参加証ワッペン43枚が順番に並んでいます。



第15回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

トゥルヌフィユ (フランス)

2020年に新しくAVIAMAに加入したトゥルヌフィユは、フランス南部のピレネー山脈とセヴェンヌ山脈の間に広がる、自然豊かなオクシタニー地方の都市です。

まちの魅力や影響力を高めるため、文化政策を重視して独自の発展を遂げてきました。コンサートホールやパフォーマンスホール、大規模な図書館といった文化施設の建設にもそのことが表れています。

また、トゥルヌフィユの芸術学校では、音楽、ダンス、演劇、視覚芸術のほかに、人形劇を学ぶこともできます。毎年11月にはトゥルヌフィユと近隣地域の約20会場で人形劇フェスティバルが開催され、上演のほか、会議や展示、ワークショップでフェスティバルが盛り上がります。



人形劇フェスティバルでは市場も上演会場に

並木 さんぽ

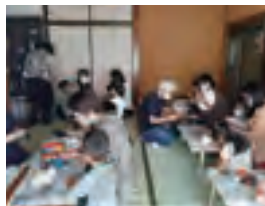
“人形劇のまち飯田”から発信する人形劇『人魚姫』。2015年初演、2019年に再演してから今年で合計18回上演してきました。8月のいいだ人形劇フェスタが集大成の予定でしたが、うれしいことに北安曇郡松川村からお声掛けいただき、来年1月に追加公演が決定しました。これが本当の集大成。有終の美を飾りたいと思います。

次号は2022年1月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子



昨年9月から始まった人形たちとつくるコミュニティスポット「ほっこり」。どなたも気軽にのぞいてみてください。



プレオープンイベント

親子で一緒に人形づくり。どの人形もどことなく作った人に似ていませんか(集合写真は撮影の時のみマスクを外しています)。2020年9月



ミニライブ

人形劇団なむなむ『妖怪あぶらとり』は、人形の動きに合わせて効果音を出したり、生演奏の音楽と合わせたり、いつもとは違う演出で上演。風呂敷をつかって簡単な人形をつくり、人形が面白く動く体験もしました。2021年7月



動画制作ワークショップ

小中学生が参加。それぞれが写真などを持ち寄り、30秒から3分ほどの動画を作りました。2021年3月

特集 / オープン 1 周年

人形たちとつくるコミュニティスポット「ほっこり」

居場所「ほっこり」ができて1年が経ちました。人形劇の不思議な力をつけて、「何かしたいけど人とうまく付き合えない…」、また、「学校には抵抗」がある人たち、「何か始めたいなあなんて思っている高齢者の方々」「赤ちゃんを抱えて外出が難しい」などの人たちがやってきて、スタッフと一緒に思い思いに楽しい時を過ごしていただきたいと考えてこれまでやってきました。

一軒家をお借りして、何もなかったところからハサミやカッターなどの道具、布・糸・フェルトなどの材料、パソコン、人形たちが少しずつ増えていきました。ほっこの活動に賛同して、人形や小道具の寄贈、駐車場の無償提供など、いろいろな方にご協力していただきました。スタッフも「ああでもない、こうでもない」と月1回のミーティングを続けてきました。こうして人の出入りが多くなり、周辺が整っていくとだんだん自分たちの居場所になってき

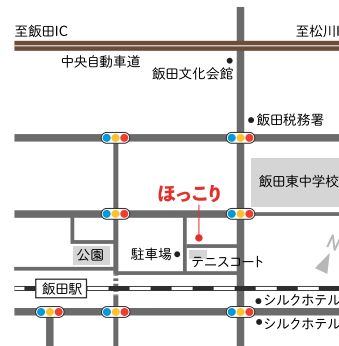
開所時間：毎週 火 曜 14:00～17:00
 第1・第3木曜 15:00～18:00
 第2・第4土曜 14:00～17:00
 参加費：無料。時間内は自由に入退室できます
 場 所：飯田市高羽町2-5-1
 (高羽町テニスコート向かい側)
 10台収容できる駐車場あり

ました。7月には近所の方々を対象にミニライブもやりました。人形劇・音楽演奏・人形づくりと盛りだくさんの楽しい時間になりました。

なかなか先が見通せず、安全に過ごせない日が続いて、今は誰もが何かしらの困難を抱えていると思います。ウイルスに感染するのは仕方ないとしても、心までがウイルスに侵されてはいけません。いろいろな人たちがあつまるところにきてほっこりしてみませんか。



休眠預金を活用した事業シンボルマーク



お問い合わせ
 NPO法人いいた人形劇センター
 ☎050-3583-3594 担当:木田
 hokkoripuppet@gmail.com

今後の予定

✓ 11月14日(日) 10:00～12:00/14:00～16:00
 動画制作ワークショップ

✓ 11月23日(祝) 10:00～12:00
 人形をつくって遊ぼうワークショップ

※飯田下伊那地域に出張公演やワークショップに出かけていきます。ご希望の団体はお気軽にご連絡ください。平日は宿題をみます。お家に帰る前に寄ってみてください。



人形劇のさいてん☆

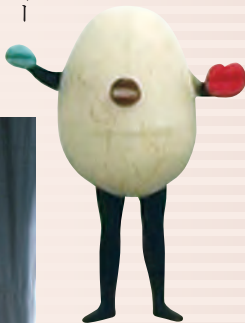
● JIJO(ジージョ) 阪東亜矢子

飯田に行く地域の人々が歓迎し応援してくださるのが本当に嬉しく、いつも驚きを感じるのは地域の人々、そして若者たちのパワーです。フェスタにも街のお

一年の大きな山です。私にとっていい人形劇フェスタは年に一度の祭典であると同時に、採点のよくなる日でもあります。沢山の人形劇が観られる場であり、沢山の劇団の中から観てもらえる場。今年は何の手法でどの作品で臨もう!?と心を引き締め

マンズをしています。いい人形劇フェスタへのJ-IJO初参加は、おそらく10年程前フリンジシアターで「卵(着ぐるみ)」が歌う、という短い作品を上演した時だったと思います。上演後、お客さんから「たくましい脚です」と言われたのがまるで昨日のよう

人形劇やカブリモノのパフォー



すべての道は飯田へ通ず

第24回



フェスタ・セントラルパークでの上演

祭りにも皆が自分たちの力を信じ試している。それはとても自発的で皆が楽しんでいて、そんな先輩たちの姿を見て若者が育ちまた街を支えている。そんな流れを感じます。

この2年、飯田の皆さんにもりんご並木にもほおにも会えずにいましたが、きつとまた元気に会えますように!

次号は、トイミュージックマイアキさんです

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から㊦

ひととき「江戸匂う一人形浄瑠璃の里、伊那谷へ」

いわば新幹線御用達の、グリーンに座ると手に出来る時刻表付の雑誌。なので目にする機会も少ないけれど、この特集は時に書き手や編集者が優れた仕事をしている。もっとも、記事に「PR」と企業名が入ったものもあるが、それはさておき、この「江戸匂う一人形浄瑠璃の里、伊那谷へ」という全18頁の特集は優れた内容だ。特に松井今朝子のレボが伊那谷の人形芝居の歴史から現在を通り一遍ではない視点で興味深く読ませて、林義勝の写真も魅力的だ。さらに文楽座の飯田出身の二人鶴澤清志郎と吉田義之のインタビューにも4頁を割き、飯田との関係をあぶりだし、さらに興味がひろがる。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



ウェッジ社発行(2018年4月)

Topic news

第10回 AVIAMA総会

9月19日に仏シャルルヴィル・メジェールでAVIAMA総会がありました。現地へ行くことができないため、飯田市からは佐藤 健市長がリモートで参加しました。

今回の会議では、AVIAMA賞の規則が可決されました。この賞は、人形劇の分野での革新的な活動によって、人形劇の発展に寄与した個人や団体に贈られます。第1回の受賞者は2022年に韓国の春川で開かれる人形劇フェスティバルで発表される予定です。

ほかには、AVIAMAが助成している若手アーティストによる人形劇プロジェクトの経過報告や前年の事業報告、決算報告がありました。

また、2つのフランスの都市が新たにAVIAMAに加入しました。フランス北西部のノルマンディーにあ

るディーヴ・シュル・メールと、南部のピレネー山脈近くに位置するミルポワの2つです。

AVIAMAは設立から10年を迎えました。今後は10年の記念事業についても検討していくそうです。



飯田会場(飯田市役所)

ダンボールししまいワークショップ



「わたちゃん」こと獅子を舞う男・後藤渉さんを講師に毎年秋に開催している「わたちゃんのダンボールししまいワークショップ」。今年は10月9日・10日の2日間、獅子舞が大好きな子どもたちが集まり、ダンボールでできた獅子頭のキットを赤や黒、黄などの絵具で塗り、自分だけの作品をつくりました。

さらに、10月17日には自分で作った獅子頭を持って集まり、わたちゃんと一緒に練習した舞を披露しました。



黒、赤、黄。色とりどりの獅子頭ができました

獅子の歯を一つひとつ油性ペンで書き込みます



「鼻の穴は黄色にしたい」とリクエスト。わたちゃん(写真右)と一緒に塗りました



物語の中に入ったような
体感する展覧会



2021年のクリスマスシーズンも、日本一大きいといわれる大阪・阪急うめだ本店のショーウィンドーに「くるみ割り人形」のストーリーが繰り広げられます。期間:11月17日(水)~12月25日(土)



7月31日から10月3日まで飯田市川本喜八郎人形美術館にて、プラハ在住の人形劇舞台美術家・人形作家 林由未さんによる「夢見る真夏のくるみ割り人形展」が開催されました。2019年・2020年のクリスマスシーズン、大阪・阪急うめだ本店のショーウィンドーに飾られた「くるみ割り人形」の世界が凝縮され、訪れた人々を魅了しました。



とらまる人形劇ミュージアムの企画展に参加した際、ひとみ座さんの「9月0日大冒険」を観劇。バックステージツアーもあり大興奮でした



10月下旬までとらまる人形劇ミュージアムに展示した人形劇じゅごん「がおちゃんメイちゃん」

に作品をアップする企画に参加しました。さらに、香川県の「とらまる人形劇ミュージアム」が主催する人形を展示し、劇団同士が交流しようという企画展にも参加しました。来場したお客さんとの会話、共に人形劇の世界で奮闘する方々との時間を持つことができ勇気が出ました。この企画展は7月から12月まで人形を入れ替えながら開催されています。お近くの方、近くに出かける方は是非お寄りください。

皆さんこんにちは、人形劇じゅごんです。年齢は重ねていますがプロになってまだ浅い劇団です。静岡県に住んでいます。お母さん劇団から一人劇団になり、数年は苦しいだけの時期を過ごしましたが、丹下さんのお力添えの演出、人形美術、音楽に助けられ実力を上回る「おこんじょうりり」(さねとうあきら氏原作のおかげもある)でプロデビューしました。次回作の宣伝活動を始めた矢先に夫の発病、看とり後、活動再開を目指しましたがコロナ禍となりました。長い休業に続き、開店休業です。しかし、文化芸術継続支援事業の力を借り、新作を作ることで意欲を繋げる未来の準備を進めています。発表出来ず、同じ志の友達とも交流できず気持ちがあざむくこともありますが、今年全人協の動画サイトに

全人協通信
専門人形劇団事情⑫

地域劇団の
つぶやき

人形劇じゅごん
後藤 淳子

一般社団法人
全国専門人形劇団協議会(全人協)
人形劇の普及と芸術性の向上をはかり、人形劇表現への理解と支持を広げることがめざし、1997年に発足。44劇団が加盟しています。